



ひと手間をかけることで材割れ防止 そのひと手間はムダにはならない

木ネジ・ビスをそのまま木材に打つと、せっかく準備した木材に割れが生じ木材を取り替えないといけないという経験ありませんか？

木ネジ・ビスを直接打つと、木材の繊維を割って入るような形になるので木材の端に打つ場合は木材が割れてしまうことがあります。打つ前に下穴をあけておけば、木材が割れるリスクが減少します。

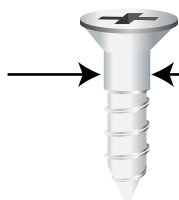


直接、締め付けすると…

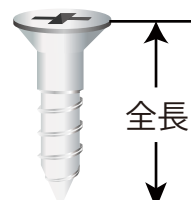
下穴のサイズはどうやって選んだらいいですか？

1 POINT

木ネジの太さに対して70%~80%くらいを目安に下穴錐を選びます。



太さ 例) 皿木ネジ3.8×41 使用の場合
3.8×0.7か0.8=2.66~3.04mmぐらいになります。



木ネジの全長の半分~2/3ほど下穴をあけることがベスト

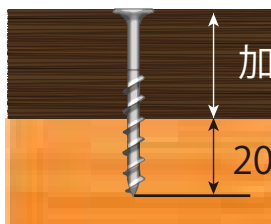
※下穴をあける加工材の種類によっても異なります。あくまでも目安です。

木ネジの長さの基準は？

2 POINT

加工材の種類によっても異なりますが、木ネジの長さは加工材の厚み+20mmぐらい(目安)でネジを食い込ませると強度が保てます。

No.75B-030
六角軸下穴錐
3mm



加工材の厚み

20mmぐらいの深さ



No.75B-SA
六角軸下穴錐
Aセット



下穴あけ後、締め付け

お問い合わせは、スターエム まで

<https://www.starminfo.com>

FAX 0120-0794-83